

# SISBiC お客様用設定情報記入シート

## 記入の手引き

このたびは、SiSBiCをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。  
SiSBiCは、お客様の環境に合わせた初期設定をおこなってから出荷いたします。  
初期設定をおこなうための資料として、別紙「SiSBiC設定情報記入シート」をご記入ください。  
ご記入方法等でご不明な点がございましたら、以下にお問い合わせください。

ケイアイエスユー株式会社  
〒604-8106  
京都市中京区堺町通御池下ル丸木材木町676番地 堺町倶蘭堂ビル6階  
TEL.075-253-6333  
FAX.075-253-6334  
E-Mail sisbic-info@kisu.co.jp

### 本書の目次

第1章 はじめに.....	1
第2章 お客様情報.....	2
第3章 マシン基本情報.....	2
第4章 ネットワークインターフェース設定.....	2
第5章 DNSネームサーバ設定.....	7
第6章 DHCP設定.....	11
第7章 WWWサービス.....	12
第8章 WWWキャッシュサービス.....	13
第9章 ファイル共有サービス.....	14
第10章 電子メールサービス.....	14
第11章 パスワード変更機能.....	16
第12章 NTPサーバ設定.....	16
第13章 IPアドレス変換.....	16
第14章 初期ユーザ登録.....	16
第15章 IPフィルタ設定.....	17
第16章 TCP_WRAPPERS設定.....	18
第17章 その他.....	19
第18章 添付資料について.....	19
記入例.....	20

# 第1章 はじめに

SISBICは Simple server base-ware on internet connectivity の略で、運営が簡単なインターネットサーバソフトウェアとして、インターネット環境ではもちろん、学校内のイントラネットのサーバとしてご運用していただくことができます。

PC-UNIXを採用し、低価格ながら高性能なサーバソフトウェアとなっており、運営管理できる教員の方々が不足している現状に対応して、学校で実際に使用する機能を厳選して提供致します。これにより、管理者の負担を軽減します。

SISBICを運用していただくにあたっては、別途ハードウェアをご用意していただく必要があります。

## 1.1 SISBICの設定に必要な情報

SISBICは以下のような環境において使用されることを想定しています。

- ・ スタンドアロンで利用:インターネットには接続しません
- ・ ダイアルアップ接続で利用:インターネットにはダイアルアップ接続で接続します
- ・ 常時接続 (非固定IPアドレス) :インターネットにADSL・光ファイバ等を用いて接続し、固定されたIPアドレスを持たない常時接続を行います。
- ・ 常時接続 (固定IPアドレス) :インターネットにADSL・光ファイバ・専用線等を用いて常時接続をおこない、固定されたIPアドレスを1個以上持っています。

※ この文書では、ダイアルアップ接続と常時接続 (非固定IPアドレス) の接続形態を、「ダイアルアップ型接続」と表記し、「常時接続」と表記した場合は固定IPアドレスを持った常時接続を指します。

これらの環境の違いを表1.2に示します。

接続形態	電子メールのやり取り	クライアントパソコンでのホームページの閲覧	外部へのホームページ公開
スタンドアロン	内部に利用のみ	内部の利用のみ	不可
ダイアルアップ型接続	プロバイダのメールサーバを利用すれば、外部との通信が可能	外部のホームページを閲覧可能	不可
常時接続 (固定IPアドレス)	外部との通信が可能	外部のホームページを閲覧可能	可能

表1.2: 接続形態によるSISBICを通じて利用可能なサービスの違い

「スタンドアロンで利用の場合」とは、学校のネットワークをインターネットに接続せずにSISBICをイントラネットサーバとして利用する方法です。この場合、SISBICは校内向け専用 (つまりイントラネット) のWebサーバ、メールサーバ、ファイルサーバとしてご利用いただけます。

「ダイアルアップ型接続での利用の場合」とは、ダイアルアップルータを利用して、学校のネットワークをインターネットに接続する場合や、常時接続で固定IPアドレスを持たない接続です。この場合のSISBICは「スタンドアロンで利用の場合」の機能に加え、外部のWebのページをより高速に閲覧することができる「キャッシュ機能」を提供します。また、ダイアルアップルータやブロードバンドルータで接続する場合は、パソコンの電子メールソフトでプロバイダのメールサーバを利用する設定にすれば、外部とのメール交換も可能です。

「常時接続の場合 (固定IPアドレス)」には、SISBICが直接外部との情報交換を行なえます。この場合のSISBICは「ダイアルアップ接続での利用の場合」の機能に加え、外部との電子メールのやり取り、外部へのWebページ公開が可能になります。

本書では、「ダイアルアップ型接続」と「常時接続」を中心に記入方法を説明いたします。

## 第2章 お客様情報

お客様情報には、「ご契約窓口情報」「SISBIC設置先窓口情報」「代理店情報」の3種類があります。

SISBICのご購入にあたって、契約は教育委員会で一括契約をしますが、設置先は各学校という場合があります。このようなときには、ご契約窓口情報には教育委員会のご担当者などを、設置先窓口情報には設置先の学校のご担当者などをご記入ください。

ご契約窓口情報には、保守契約欄があります。リモートメンテナンスによるソフトウェア保守の「年間保守サービス」があります。

なお、「年間保守サービス」のご契約には常時接続で、かつ弊社からお客様のSISBICにリモート接続できることが必要です。

これらにご契約いただいた場合は、それぞれ該当欄をチェックしてください。

## 第3章 マシン基本情報

使用するハードウェアと、接続するオプション機器を記述します。

3. マシン基本情報				
メーカー名				
機種名				
機種型番				
詳細情報			メーカー名	製品名/型番
	LANカード #1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する		
	LANカード #2	<input type="checkbox"/> 使用する		
	SCSIカード	<input type="checkbox"/> 使用する		
	UPS	<input type="checkbox"/> 使用する		
	バックアップ装置	<input type="checkbox"/> 使用する		
	その他 #1	<input type="checkbox"/> 使用する		
	その他 #2	<input type="checkbox"/> 使用する		

SISBICを運用されるパソコンの「メーカー」「製品名」「製品型番」を記入してください。

LANカード・SCSIカードを増設される場合は、「メーカー」「製品名」を記入してください。

無停電電源装置（UPS）やテープバックアップ装置（DAT）をご利用になる場合は、使用するにチェックし、接続する装置の名称を機器名にご記入ください。

特に、UPSの名称は正確にご記入ください。間違われた場合、SISBICが起動直後に停電と誤認識する場合があります。

2007年3月現在で動作確認を行っている接続機器は以下のとおりです。

無停電電源装置（UPS）	三菱電機社製 FREQUPS Fシリーズ (FW-F10-0.3K/FW-F10-0.5K)
バックアップ装置（DAT）	HP社製 SureStore (DAT8e/DAT24e/DAT24eU)

## 第4章 ネットワークインターフェース設定

インターネットの技術は多数のコンピュータをネットワークに接続することによって構成されています。そのため、インターネットに接続する場合には「学校内のネットワークだけ」考慮すればすむ、というわけには行きません。

## ケイアイエスユー株式会社

またセキュリティの確保のためには適切なネットワーク構成を行うことが必要不可欠です。

SISBICは2枚のネットワークインターフェースカードでの運用を想定しており、この2枚のネットワークインターフェースカードを利用することでネットワークの分離を行いセキュリティの確保ができます。

## 4.1 IPアドレスについて

IPアドレスは32bitの整数で、aaa.bbb.ccc.dddの形式に4つの10進数をピリオド(.)で区切って表現します。この数によって世界中のコンピュータが一意的に識別されます。そのためにIPアドレスは重複してはいけません。

ただし、IPアドレスの中にはプライベートアドレスと呼ばれる、学校などの組織内だけなら自由に使ってよいIPアドレスが存在します。

地域によっては、教育センターを中心とした学校間ネットワークシステムを構築し、プライベートアドレスを各学校に割り当てる場合があります。この場合、各学校が直接インターネットに接続することはできないため、「教育センター」が電子メールサーバやWWWサーバ、キャッシュサーバ(Proxyサーバと呼ばれる場合もあります)を設置しており、それを意識して学校のネットワークを設定する必要があります。

## 4.2 セキュリティの確保

SISBICは2枚のネットワークインターフェースカードでの運用を想定しており、この2枚のネットワークインターフェースカードを利用することでネットワークを分離し、これら2つのネットワーク間を通過するデータを制限する「IPフィルタリング機能」というファイアーウォール機能でセキュリティの確保ができます。

セキュリティを確保するためには適切なネットワーク構成にすることが必要不可欠で、以下のようなことについて注意する必要があります。

- ・インターネットからの不正利用に対して防御する
  - ・教室の生徒機から不用意に職員室の先生機が見えてしまわないように防御する
- このようなことを踏まえて次のセクションではネットワークの構成例を挙げます。

## 4.3 ネットワークの構成例

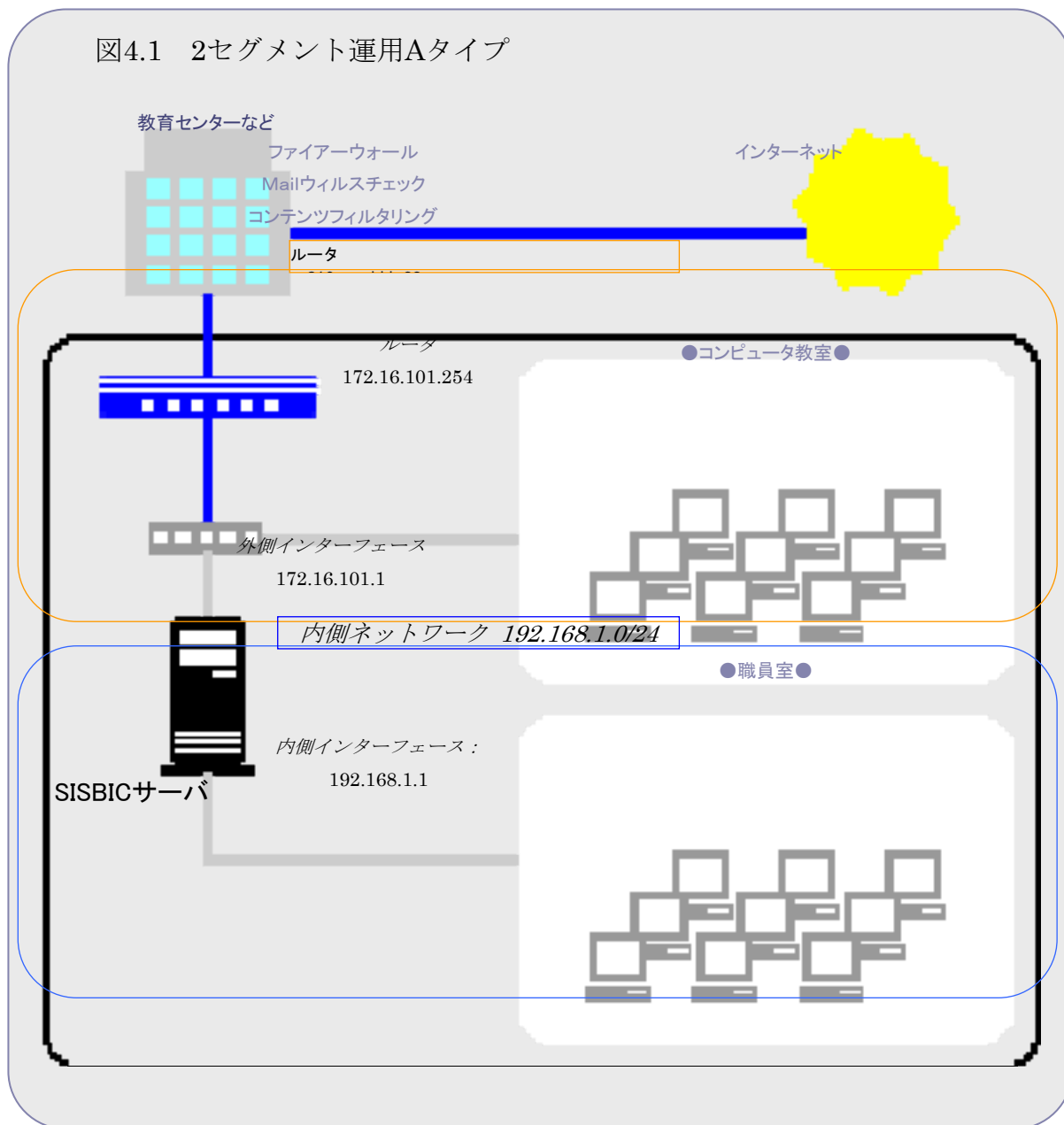
ネットワークの構成はSISBICを中心とした校内ネットワークの敷設の仕方によって

- ・2セグメント運用Aタイプ(インターネット側からの不正利用に対してはルータで防御する)
- ・2セグメント運用Bタイプ(インターネット側からの不正利用に対する防御を最優先に考える)
- ・3セグメント運用(インターネット側からの不正利用に対する防御と校内ネットワーク内でのセキュリティの両面を考慮する)

の3つのタイプに分れます。

## 4.3.1 2セグメント運用Aタイプ

図4.1に2セグメント運用Aタイプの場合の構成例を挙げます。



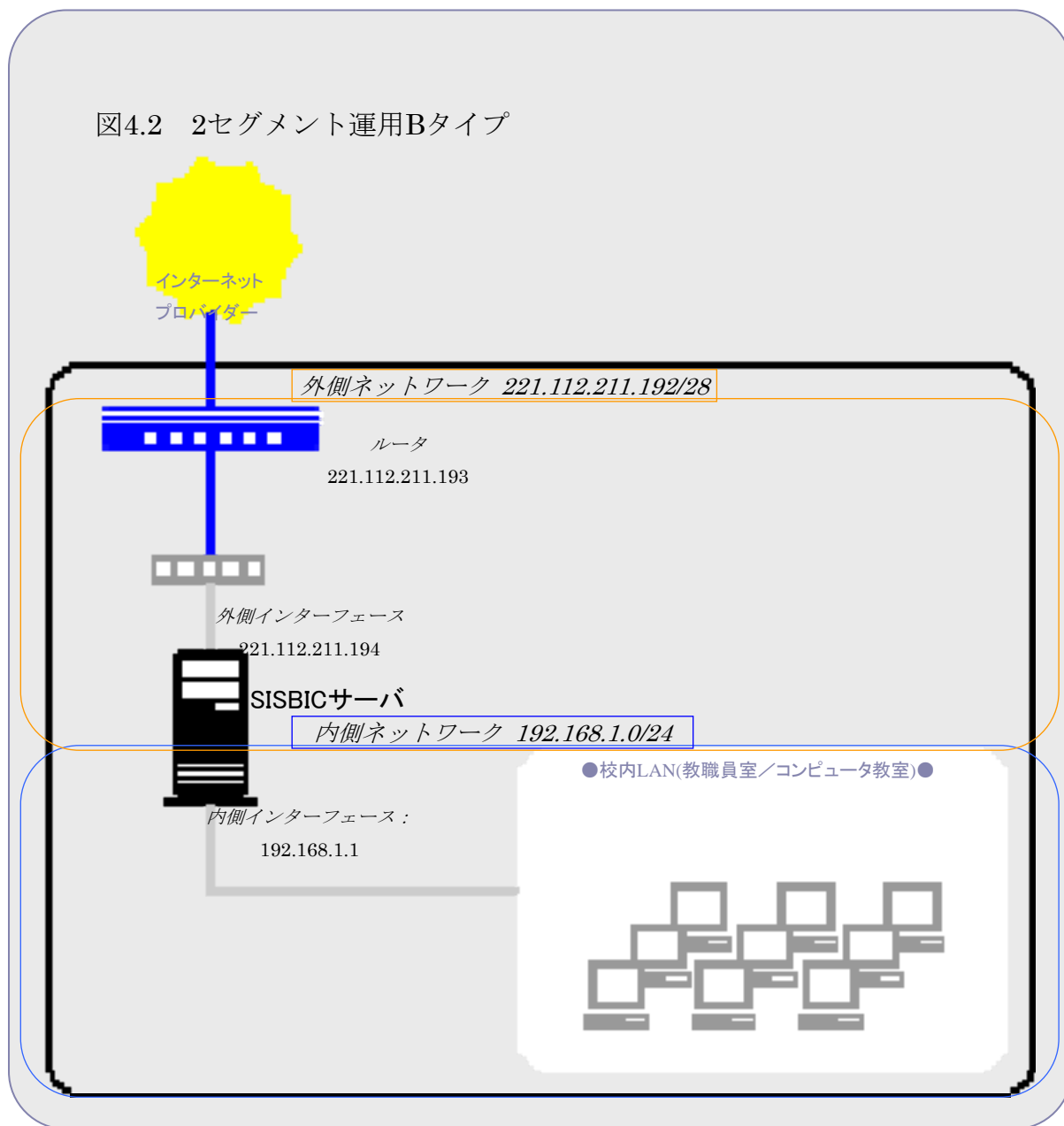
この構成はセンター接続など、インターネットからのアクセスに対して別途一定のアクセス制御がされている場合に多く利用される形態です。「インターネットからの不正使用に対するの防御」は別途教育センターなどで実施しているので、「コンピュータ教室の生徒機から職員室の先生機が不用意に見える事に対する防御」を中心に考えた構成と言えます。

「コンピュータ教室の生徒機から不用意に職員室の先生機が見えないように防御する」ためにコンピュータ教室のネットワークと職員室のネットワークの間にSISBICを入れます。この図のように職員室のネットワークをSISBICの内側に接続することによって、職員室にある先生用パソコンが教室側のコンピュータから不用意に見えてしまうことに対して防御します。

なお、万が一のトラブル発生時に通信記録（ログ）を検索しやすくするためやセキュリティを考慮し、外側ネットワークインターフェースに繋がっている生徒用PCに対してのファイル共有サービスおよびDHCPサービスは利用しないことをお勧めします。

## 4.3.2 2セグメント運用Bタイプ

図4.2に2セグメント運用Bタイプの場合の構成例を挙げます。



この構成はプロバイダに直接接続する場合など、校内のコンピュータを“自分で”守る利用形態です。

「インターネットからの不正使用に対する防御」を第一目的とした構成で、職員室の先生機、教室のパソコン共にSISBICの内側に配置しています。

この構成では「教室の生徒機から職員室の先生機が不用意に見える」可能性があります。より重要な「インターネットからの不正使用に対して防御する」ことを優先しています。

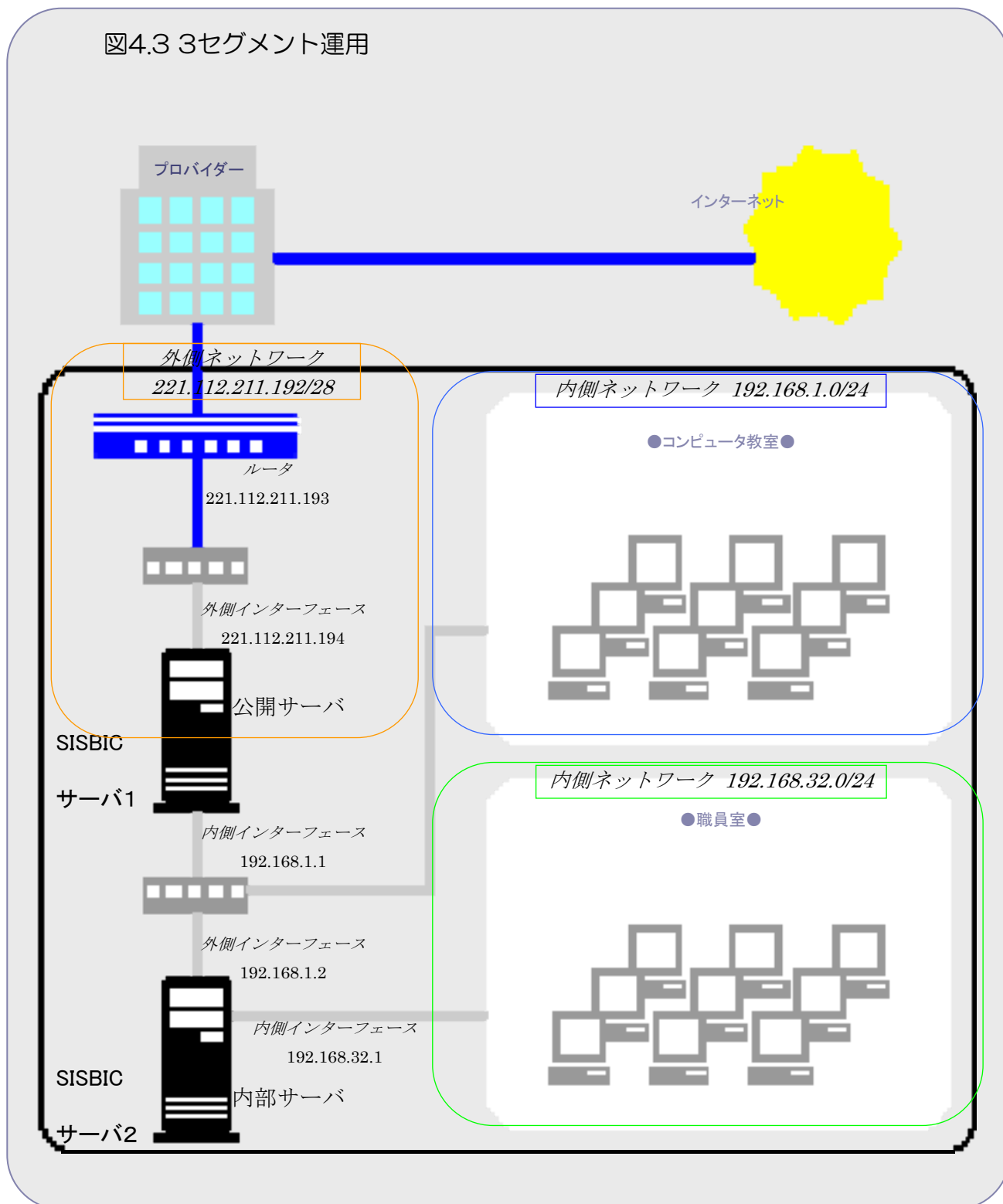
なお、万が一のトラブル発生時に通信記録（ログ）を検索しやすくするためやセキュリティーを考慮し、内側ネットワークインターフェースに繋がっている生徒用PCに対してのファイル共有サービスおよびDHCPサービスは利用しないことをお勧めします。

### 4.3.3 3セグメント運用

図4.3に3セグメント運用の場合の構成例を挙げます。

この構成はプロバイダに直接接続する場合など、校内のコンピュータを"自分で"守る利用形態です。

「インターネットからの不正使用に対しての防御」と「教室の生徒機から職員室の先生機が不用意に見えることを防ぐ」ことの両面を考えた構成で、SISBICが2台用意できる場合はこの構成となります。



## 4.4 設定について

以下、2セグメント運用Bタイプ（図4-2）の形態による「第一小学校」を例にとって記入例を説明いたします。

### 4.4.1 SISBICネットワークインターフェースでの設定例

5. ネットワークインターフェースの設定		
外側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	example.ed.jp
	IPアドレス(aaa.bbb.ccc.ddd)	221.112.211.194
	サブネットマスク	255.255.255.240
内側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	in.example.ed.jp
	IPアドレス(aaa.bbb.ccc.ddd)	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ (aaa.bbb.ccc.ddd)		221.112.211.193

「外側インターフェース」とは、インターネット側に位置するネットワークインターフェースのことで、こちらのネットワークを外側と呼びます。また、「内側インターフェース」とは、学校側のネットワークとなり、内側と呼びます。

SISBICでは内側ネットワークを外側ネットワークの一部（サブドメイン）となるように設定し、インターネット側（外側）から内側のサブドメインは見えなくします。

上の例では、インターネット側から見たときのSISBICの設定は以下のようになります。

- ・ホスト名：sisbic
- ・ドメイン名：example.ed.jp
- ・IPアドレス：221.112.211.194
- ・サブネットマスク：255.255.255.240

デフォルトゲートウェイは、ルータのIPアドレス（ダイアルアップ型接続の場合はダイアルアップルータやブロードバンドルータに割り当てたIPアドレス）である221.112.211.193を指定しています。

また、学校側のネットワーク（内側）から見た場合の設定は以下のようになります。

- ・ホスト名：sisbic
- ・ドメイン名：in.example.ed.jp（example.ed.jpのサブドメイン）
- ・ipアドレス：192.168.1.1
- ・サブネットマスク：255.255.255.0

## 第5章 DNSネームサーバ設定

DNSはDomain Name Systemの略で、sisbic.example.ed.jpといったホスト名とそのホスト名に割り当てられているIPアドレスとの対応や、user@example.ed.jpといった電子メールアドレス宛の電子メールを、どのホストに宛てて送ればよいのか、といった情報を提供します。

SISBICのDNS設定についての詳しい内容が必要なときは、SEサポートが必要となる場合があります。代理店を通じてお問い合わせください。

SISBICの内側ネットワークに存在するホストに関しては、クライアントパソコンのWebブラウザで稼動する、SISBIC管理ツールを通じて設定することができます。

またDHCPで利用するように設定したIPアドレスは、SISBICのDNSネームサーバにあらかじめ登録してあります。



## ケイアイエスユー株式会社

DNSの設定に関する情報は、「DNSネームサーバ設定」に記入します。

記入していただく内容は、大きく2つに分かれます。

- ・サーバの設定 : SISBIC自身がDNSネームサーバとなるための設定
  - ・リゾルバの設定 : SISBICが利用するDNSネームサーバの指定
- 一般的には、SISBIC自体でDNSネームサーバを立ち上げておき、そのネームサーバをSISBICが利用するように設定します。

## 5.1 サーバの設定に関して

マスター（プライマリ）、スレーブ（セカンダリ）、キャッシュのみについては以下のような違いがあります。

マスター（プライマリ）	「ドメイン名」欄で指定したドメインの担当として名前解決を行います。インターネットへの常時接続を行い、独自ドメインを利用する場合に必要です。 主に、常時接続、ダイアルアップ型接続の場合に指定します。 スレーブサーバも利用できる場合は、スレーブサーバのサーバ名もしくはIPアドレスを記入してください。
スレーブ（セカンダリ）	「ドメイン名」欄で指定したドメインの担当として名前解決を行います。ただしデータはプライマリネームサーバからのコピーを持ち、保持しているデータの直接の変更はできません。 SISBICをスレーブサーバにする場合には、必ずマスターサーバのIPアドレスを記入してください。 SISBICでは、この設定を行う必要はほとんどなく、必要な場合には弊社へご相談ください。
キャッシュのみ	SISBICでは、この設定を行う必要はほとんどなく、必要な場合には弊社へご相談ください。

### 5.1.1 フォワーダの指定

SISBICのDNSネームサーバをプライマリあるいはセカンダリとしている場合には、インターネットのホスト名の名前解決（ホスト名とIPアドレスの対応）をするため、SISBICはDNSの「ルート・ネームサーバ」から検索を開始します。

しかし、ダイアルアップ型接続の場合などではプロバイダが用意するDNSネームサーバにホスト名の名前解決を依頼することになります。その場合には、「フォワーダ」欄にプロバイダが指定したDNSネームサーバのIPアドレスを記入してください。

また、教育センター方式などでは、SISBIC用のIPアドレスとしてインターネットに直接接続できないプライベートアドレスを割り振られることがあります。この場合は、SISBICが直接DNSのルートネームサーバを参照できないため、フォワーダの設定をする必要があります。このような特殊な設定を行う場合には弊社へご相談ください。

### 5.1.2 リゾルバの指定

リゾルバの指定では、SISBICがDNSネームサーバのクライアントとして動作する場合、どのネームサーバにホスト名のアドレス解決を依頼するかを指定します。

#### 127.0.0.1（localhost）をチェックする場合

IPアドレス127.0.0.1はlocalhostとよばれ、自分自身をあらわす特別なIPアドレスとして利用されます。一般的な使い方の場合には、リゾルバの指定で自ホスト127.0.0.1を指定しておき、SISBIC自身で起動しているDNSネームサーバを利用します。

通常はこの設定だけでかまいません。

また、ダイアルアップ型接続や、その他特殊な接続形態をしている場合にはフォワーダの設定をする必要があります。

## ケイアイエスユー株式会社

DNSのフォワーディング機能を持ったルータを利用する場合には、ルータのDNSのフォワーディング機能を利用するために以下のように設定する必要があります。

- ・ SISBICの「5.DNS設定」のリゾルバを127.0.0.1(localhost)に設定する。
- ・ SISBICで起動させるDNSネームサーバの設定で、ルータのIPアドレスをフォワーダで指定する
- ・ ルータにはプロバイダの提供しているDNSネームサーバのIPアドレスを設定する。

このように設定した場合は、まず、SISBICは名前解決のために、自分自身で稼動しているDNSネームサーバに問い合わせを行います。次に、問い合わせを受けたSISBICのDNSネームサーバはプロバイダに設定してあるルータに対して、名前解決を依頼します。そして名前解決の依頼を受けたルータはプロバイダのネームサーバに問い合わせに行き、プロバイダのネームサーバが実際の名前解決を行い、その結果がルータ、SISBICと伝わる事になります。

## 5.2 ダイアルアップ型接続で利用する場合

ダイアルアップ型接続の場合には、SISBICはDNSネームサーバとしてインターネットから参照されることはありません。したがって、ドメイン名は任意のドメイン名を利用することができます。

しかしネットワークの構成上、SISBICの外側インターフェースに接続されたネットワークセグメントにパソコンが存在する場合があります（このほか図4.3のように、2台目のSISBICの外側インターフェースにパソコンが設置されているような場合もあります）。

この場合には、SISBICにとって外部ネットワーク側のホストからDNSネームサーバが参照される場合がありますので、校内ネットワーク構成（接続関係図、ホスト名、IPアドレスなど）を、「SISBIC設定お問い合わせシート」の添付資料として、弊社にご連絡ください。

このほかプロバイダから、「利用するDNSネームサーバ」を指定された場合にはフォワーダの設定も行います。下の例はプロバイダから「利用するDNSネームサーバ」のIPアドレスが210.aaa.bbb.zzzと通知され、ダイアルアップルータのDNSサーバ機能を利用する場合です。

- ・ ドメイン名「example.ed.jp」、プロバイダからDNSネームサーバ「210.aaa.bbb.xxx」を利用するように指定された、ダイアルアップ利用の場合の記入例

6. DNSネームサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ドメイン名	example.ed.jp		
サーバタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> マスター（プライマリ）	スレーブ（セカンダリ）サーバ名	
	<input type="checkbox"/> スレーブ（セカンダリ）	マスター（プライマリ）サーバ名	
	<input type="checkbox"/> キャッシュのみ		
フォワーダ（プロバイダのDNSネームサーバをIPアドレスで指定して利用する）	210.aaa.bbb.xxx		
接続先プロバイダ名			
リゾルバ（DNSネームサーバのIPアドレス）	<input checked="" type="checkbox"/> 127.0.0.1 (localhost)		
	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		

## 5.3 常時接続の場合の設定

常時接続の場合にはサブドメインを割り当てられる場合があります。

サブドメインを割り当てられた場合には、そのサブドメインに属するホストを管理しなければなりません。SISBICではSISBICを境界線としてSISBICよりインターネット側とSISBICより内側の学校内と別々にDNSを設定することになります。

### 5.3.1 インターネット側（外側）のDNSの設定

外側に存在するホストは、基本的にルータのみにするなど最小限にするべきです。ただし、ルータのIPフィルタなどの機能を使うことによってこの制限を回避することができます。

**ケイアイエスユー株式会社**

また、教育センター方式などでは、SISBIC用のIPアドレスとしてインターネットに直接接続できないプライベートアドレスを割り振られることがあります。この場合は、SISBICが直接DNSのルートネームサーバを参照できないため、フォワーダの設定をする必要があります。このような特殊な設定を行う場合には弊社へご相談ください。

### 5.3.2 SISBICの校内側（内側）のDNSの設定

SISBICからみて内側のDNSの設定には、SISBIC管理ツールを使ったWEBブラウザからの設定ができます。なお、DHCPへの割り当て分はあらかじめ設定してありますのでWEBからの設定は行えません。

- ・ 自ドメインがexample.ed.jpで、SISBICをプライマリネームサーバとして利用する。セカンダリネームサーバは、プロバイダのネームサーバns.example.ne.jp、IPアドレスが210.aaa.yyy.zzzを利用する場合の例

<b>6. DNSネームサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ドメイン名	example.ed.jp		
サーバタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> マスター（プライマリ）	スレーブ（セカンダリ）サーバ名	ns.example.ne.jp (210.aaa.yyy.zzz)
	<input type="checkbox"/> スレーブ（セカンダリ）	マスター（プライマリ）サーバ名	
	<input type="checkbox"/> キャッシュのみ		
フォワーダ（プロバイダのDNSネームサーバをIPアドレスで指定して利用する）			
接続先プロバイダ名	ABCネットワーク		
リゾルバ（DNSネームサーバのIPアドレス）	<input checked="" type="checkbox"/> 127.0.0.1 (localhost)		
	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		

### 5.4 ホスト名の登録

DNS設定時にホスト名を登録することが可能です。外側ネットワーク、内側ネットワークそれぞれに3台の機器までは任意の名称を定義できます。このほか3種類までの定型名（stu00～stu40のように英字+数字の組み合わせ）も定義できます。定型名のときは、一番最後のIPアドレスが割り当てられたネットワークアドレスに収まるように注意してください。

図4.2 2セグメント運用Bタイプを例にします。

- ・ 外側ネットワークにあるルータのホスト名：rt(192.168.1.1)
- ・ 外側ネットワークホスト名の定型登録：なし
- ・ 内側ネットワークにある教室先生機のホスト名：teacher(192.168.32.10)
- ・ 内側ネットワークホスト名の定型登録：生徒機 stu01(192.168.32.11)～stu40(192.168.32.50)

外側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input checked="" type="checkbox"/> rt	192.168.1.1	
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定型登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
内側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input checked="" type="checkbox"/> teacher	192.168.32.10	
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定型登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input checked="" type="checkbox"/> stu01	192.168.32.11	40
		<input type="checkbox"/>		

## 第6章 DHCP設定

クライアントパソコンのIPアドレスの設定を簡単にするには、DHCPを利用します。  
DHCPを利用する場合は「利用する」をチェックしてください。

<b>7. DHCPサーバの設定</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
----------------------	--	--------------------------------

しかし、生徒機のようにIPアドレスの変更がほとんどないうえ、パソコンの利用記録を調べる必要がでてきたときはDHCP管理にしないほうがよいでしょう。

DHCPは自動的にIPアドレスを割り振ってIPアドレスの重複を防いだり、DNSネームサーバのIPアドレスを通知するなど管理の負担を軽減します。

ただし、自動的にIPアドレスを割り当てられては困る機器（たとえばファイルサーバや、プリンタサーバなどはIPアドレスを固定するべきです）はDHCPを利用せずにIPアドレスを割りあて、DNSネームサーバに登録してください。また、DHCPで割り当てられるように設定したIPアドレスはSISBICのDNSネームサーバにあらかじめ登録されます。

内側ネットワーク	設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	開始IPアドレス	192.168.1.129
	終了IPアドレス	192.168.1.254

ここでは内側のネットワークに192.168.1.129から192.168.1.254までのIPアドレスをDHCPによって自動的に割り当てるように設定しています。ここで注意することは、DHCPで割り当てるIPアドレスは、SISBICに割り当てたネットワークのうち、内側サブネットの範囲内にある、ということです。

上の例ではSISBICが持つ2つのネットワークインターフェースのうち、内側インターフェースには、IPアドレスに192.168.1.1、サブネットマスクに255.255.255.0を割り当てました。この場合、DHCPで指定できるIPアドレスは最大で192.168.1.2～192.168.1.254となります。

このほか、例えば内側インターフェースに192.168.32.1、サブネットマスク255.255.255.0を割り当てた場合には、192.168.32.2～192.168.32.254をDHCPで割り当てることができます。

さらに、内側インターフェースに192.168.1.1を、サブネットマスクは255.255.255.192を指定した場合は192.168.1.2から192.168.1.63までがDHCPで割り当てることができるIPアドレスとなります。

DHCPは外側ネットワークでの利用も可能です。しかし、外側ネットワークは通常はインターネット側になるため、不用意にコンピュータを接続しても動作しないようにしておくほうが安全です。

## 第7章 WWWサービス

---

ここで言うWWWサービスはWebページを公開するサービスです。  
Webページを公開する場合は、「利用する」をチェックしてください。

8. WWWサーバの設定

利用する

利用しない

### 7.1 ダイアルアップ型接続での利用の場合

ダイアルアップ型接続の場合にもWebの公開は学校内部のみとなります。記述が必要な項目は、利用するかしないかだけです。

### 7.2 常時接続での利用の場合

常時接続での利用の場合には、外部にもWebの公開が行えます。SISBIC設定お問い合わせシートへの記述は、WWWサーバ機能を利用するかしないかのみです。

公開先を限定する場合には、SISBICの導入後に.htaccessを利用して設定を行うことができます。

# 第8章 WWWキャッシュサービス

WWWキャッシュサービスを利用して、校外のWWWサーバの高速な閲覧が可能になります。このとき、上流のWWW Proxyサーバを考慮して設定すれば、さらに快適になります。

また、アクセスリストにより、任意のURLへのクライアントパソコンからのアクセスを制御することが可能です。WWWキャッシュサービスを利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

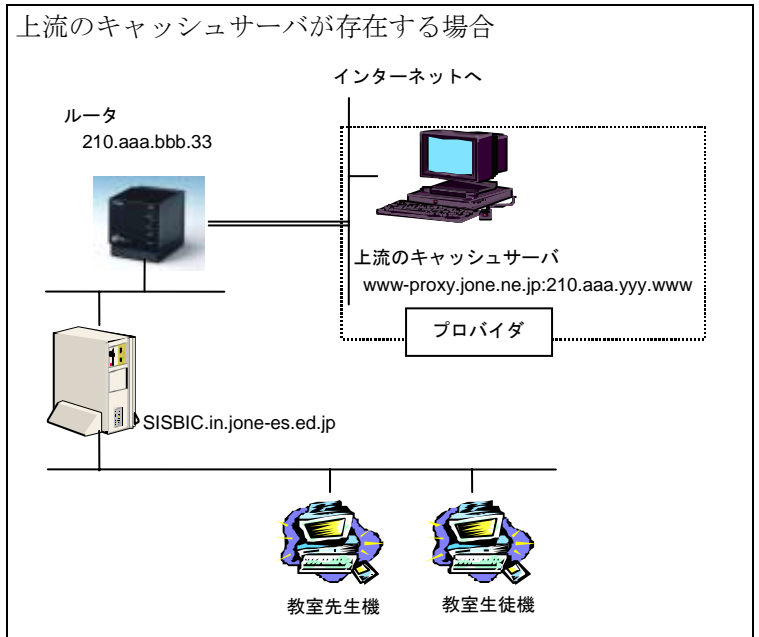
<b>9. WWWキャッシュサーバの設定</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
--------------------------	--	--------------------------------

## 8.1 上流のWWW キャッシュサーバーについて

ダイヤルアップ型接続、常時接続どちらで利用の場合でも、上流のキャッシュサーバについて考慮する必要があります。

- キャッシュサーバを置く理由は主に二つあります。
- ・同じ内容のコンテンツを重複してダウンロードすることを防ぐ。これにより校外とのデータ通信量が減り、アクセス効率が上昇する。(キャッシュ機能)
  - ・割り振られているIPアドレスがプライベートアドレスであるために直接外部との接続ができないときに利用する。学校が教育センターなどを介して接続するイントラネットの場合に相当します。(プロキシ機能)

さらに教育センターで、コンテンツフィルターを利用して有害と思われるサイトの閲覧を禁止するため、上流のキャッシュサーバを指定する場合があります。このような場合には指定されたキャッシュサーバを利用することになりますので、お問い合わせシートに以下のように記述してください。



- ・上流のWWWキャッシュサーバのホスト名がwww-proxy.example.ne.jp、ポート番号が8080の場合
- ・キャッシュ領域の大きさや有効期限、最大サイズはデフォルトのままなので指定しない

<b>9. WWWキャッシュサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
親キャッシュサーバ名	<input checked="" type="checkbox"/> 設定する	サーバ名	www-proxy.example.ne.jp
		ポート番号	<input checked="" type="checkbox"/> 8080 <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 設定しない	← 「設定する」の場合ご記入下さい	
キャッシュ領域容量		MB	
キャッシュする最大サイズ		MB	
キャッシュの有効期間		日	
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する		

## 第9章 ファイル共有サービス

SISBICのファイル共有サービスは接続形態によらず利用ができます。

### 9.1 Windows用ファイル共有サービス

Windows用ファイル共有サービスはSambaによって行います。

Windows用ファイル共有サービスを利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

<b>10. Windows用ファイル共有サーバの設定</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
---------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

ここで設定が必要な項目はワークグループ名の設定で、デフォルトの設定は「WORKGROUP」です。既存のネットワークがなければデフォルトの設定のままで大丈夫です。

ワークグループ名	<input checked="" type="checkbox"/> WORKGROUP <input type="checkbox"/>
----------	---

また既存のワークグループが存在する場合には明示的に指定してください。

- ・既存のワークグループを「DAIICHI-ES」とする場合

ワークグループ名	<input type="checkbox"/> WORKGROUP <input checked="" type="checkbox"/> DAIICHI-ES
----------	--

Windows用ファイル共有は通常は内側ネットワークだけで利用します。外側ネットワークで利用すると、インターネットにもファイル共有のデータが漏洩する可能性が高いからです。したがって、通常は「外側ネットワークで利用する」にチェックはしないでください。

Windows用ファイル共有用フォルダはSISBIC管理ツールを使ったWEBブラウザから設定が行います。

## 第10章 電子メールサービス

### 10.1 ダイアルアップ型接続で利用の場合

ダイアルアップ型接続で利用の場合にはSISBICは外部との電子メールのやり取りを行いません。

外部との電子メールのやり取りを行う場合にはプロバイダとの契約を行い、外部のSMTPサーバおよびPOP3サーバ(もしくはIMAP4サーバ)を利用するようにしてください。

### 10.2 常時接続で利用の場合

常時接続で利用の場合にはSISBICがSMTPサーバおよびPOP3サーバとして外部とのメールのやり取りを行います。

SISBICはDNSの設定にしたがって電子メールの配送を行いますのでDNSの設定を必ず正しく行ってください。

### 10.3 SMTPサーバ設定について

サーバ間の電子メールの送受信や、クライアントパソコンから送信されたメールの配送を行います。

SMTPサーバ機能を利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

<b>12. SMTPサーバの設定</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
-----------------------	--	--------------------------------

### 10.3.1 ダイアルアップ型接続の場合

SISBICは接続形態がダイアルアップ型接続の場合には、外部とのメールのやり取りができません。

・ダイアルアップ型接続の場合

<b>12. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメール サーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし
	<input checked="" type="checkbox"/> しない		<input type="checkbox"/>

### 10.3.2 常時接続の場合

例えば常時接続の第一小学校example.ed.jpが、外部とのメールのやり取りをする場合の設定について説明します。

外部と電子メールのやり取りをSISBICが直接行う場合には以下のようにしてください。

<b>12. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input checked="" type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメール サーバ名	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
	<input type="checkbox"/> しない		<input type="checkbox"/>

また、外部と電子メールのやり取りを行わずに校内専用の電子メールにする場合には以下のようにしてください。

<b>12. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメール サーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし
	<input checked="" type="checkbox"/> しない		<input type="checkbox"/>

教育センター接続のような形態で、中継用SMTPサーバ（リレーメールサーバ。例えばホスト名がmail.example.gr.jpの場合）が指定された場合にはこのように指定してください。

<b>12. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input checked="" type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメール サーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし
	<input type="checkbox"/> しない		<input checked="" type="checkbox"/> mail.example.gr.jp

この設定の場合は、外部にメールを送り出す場合にはmail.example.gr.jpを中継してメールが配送されます。このような特殊な設定を行う場合には弊社へご相談ください。



## 10.4 POP3サーバ設定について

クライアントパソコンからPOP対応のメールソフトを使ってSISBICに到着したメールを読むことができます。ダイアルアップ型接続時は、校内専用のメールサーバとしてのみ利用が出来ます。POP3サーバ機能を利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

13. POP3サーバの設定 (YATServer)	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
----------------------------	--	--------------------------------

## 第11章 パスワード変更機能

POP対応のメールソフトの中には、poppassを使ったパスワード変更の出来るものがあります。ユーザがそのメールソフトでパスワードの変更を行うことが出来ます。

パスワード変換機能を利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

14. パスワード変更機能	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
---------------	--	--------------------------------

## 第12章 NTPサーバ設定

NTPはネットワーク上のホストの時刻を同期させるためのプロトコルです。これを使用することにより、SISBICの内蔵時計の時刻調整を自動化できます。この設定は常時接続の場合のみ可能です。内蔵時計は電子メールの発信時刻、受信時刻などで利用されるため正しいことが必要です。NTPを利用しない場合は、手動で時間あわせをする必要があります。

NTPサーバを利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

15. NTPサーバの設定(常時接続時のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
------------------------	--	--------------------------------

プロバイダから指定されたNTPサーバがaaa.bbb.ccc.dddの場合

NTPサーバのIPアドレス	aaa.bbb.ccc.ddd
---------------	-----------------

## 第13章 IPアドレス変換

SISBICの内側ネットワークにあるクライアントパソコンが接続先(センターやプロバイダ)から割り当てられたものではないIPアドレス(プライベートアドレス)を使っている場合に利用します。

SISBICの外側ネットワークにあるクライアントPCには適用出来ませんので、外側ネットワークのクライアントパソコンが、接続先から割り当てられたものではないIPアドレスを使っている場合には、ルータのNAT機能を使うなどする必要があります。一般的なプロバイダの端末型ダイアルアップ型接続の場合は、これにあたります。

IPアドレス変換機能を利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

16. IPアドレス変換	<input type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
--------------	-------------------------------	--------------------------------

IPアドレス変換を「利用する」にした場合、第15章IPフィルタの設定も「利用する」となります。

## 第14章 初期ユーザ登録

通常はお客様がSISBICの管理ツールでユーザ登録を行いますが、あらかじめユーザ登録を当社で行うことも可能です。

初期ユーザ登録をする場合は、「利用する」をチェックしてください。

17. 初期ユーザ登録	<input type="checkbox"/> 登録する	<input type="checkbox"/> 登録しない
-------------	-------------------------------	--------------------------------

## ケイアイエスユー株式会社

初期登録では、以下の制約があります。

### ●ユーザグループ名（1グループのみ指定可能）

英字ではじまり、数字で終わる。数字が増加するような命名規則であれば、その数字の最初と最後を指定できる。グループ名は8文字以内。

例：student1～student3

### ●ユーザ名（3グループまで指定可能）

英字ではじまり、数字で終わる。数字が増加するような命名規則であれば、その数字の最初と最後を指定できる。ユーザ名は8文字以内。

例1：a001～a100

例2：stu01～stu99

注意：例1、例2のように、数字は桁数をそろえてください。例1ではa999の次はb000になりますし、例2ではstu99の次はstv00と数字の左のアルファベットが次の文字になります。

17. 初期ユーザ登録		■ 登録する		□ 登録しない	
定形グループ名登録（最大1項目）	開始グループ名	■ [student1 ]	終了グループ名	□ [student3 ]	■ [student2 ]
		□ [ ]			
定形ユーザ名登録（最大3項目）	所属グループ	開始ユーザ名		終了ユーザ名	
	□ student1	a001		a200	
	□ student2	b001		b200	
	□ student3	c001		c200	
	■ student2	stu01		stu99	
	■ teacher	sensei01		sensei20	
	□				

## 第15章 IPフィルタ設定

外部ネットワークから内部ネットワークへのデータ通信を遮断し、逆方向である内部ネットワークから外部ネットワークへのデータ通信のうち指定されたものだけを許可する機能です。

また、外部ネットワークからSISBICへの特定のデータ通信を許可する設定も可能です。

外部ネットワークからSISBICへのデータ通信を許可する例として、センター接続方式でセンター等からTELNETやFTPを使用し、SISBICのメンテナンス等を行う場合に設定します、SISBICを直接インターネットサービスプロバイダ等に接続されている場合はこれらの設定を許可しないことを推奨します。

IPフィルタ機能を利用する場合は、「利用する」をチェックしてください。

18. IPフィルタ設定	□ 利用する	□ 利用しない
--------------	--------	---------

SISBICの内側ネットワークにあるクライアントパソコンから外側ネットワークにあるサーバを利用するため、通過を許可するデータをサービスごとに指定します。

フィルタ設定を利用しない場合は、外部ネットワークと内部ネットワーク間のすべてのデータは相互に透過します。

内側ネットワークから外側ネットワークへ許可するサービス (外側から内側へのアクセスは原則禁止)	■ ICMP
	■ SSH
	□ FTP
	□ TELNET
	□ SMTP
	□ HTTP
	□ HTTPS
	□ POP3
	□ NNTP
	□ IMAP4
	□ SMB (Windowsファイル共有)
	□ MS-DFS (Windowsファイル共有) ※Windows2000以降で使用
	□ AFS/IP (Macintoshファイル共有)
	□ Lpr
□ その他TCPポート	
□ その他UDPポート	

外側（インターネット）ネットワークからSISBiCへ許可するサービス	<input type="checkbox"/>	FTP
	<input type="checkbox"/>	TELNET
	<input type="checkbox"/>	SMB（Windowsファイル共有）
	<input type="checkbox"/>	MS-DFS（Windowsファイル共有） ※Windows2000以降で使用
	<input type="checkbox"/>	AFS/IP（Macintoshファイル共有）
	<input type="checkbox"/>	その他TCPポート

## 第16章 TCP\_WRAPPERS設定

SISBiCのTCPサービスへアクセス許可・拒否の設定を行う為の設定です。

tcp\_wrappersを利用する場合は「利用する」にチェックをつけてください。

<b>19. TCP_WRAPPERS設定</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
---------------------------	-------------------------------	--------------------------------

SISBiCでは、下表16-1網掛け部分のサービスをtcp\_wrappersでアクセス制御することが可能です。それぞれのサービスに対して何処からのアクセス許可を与えるかチェックしてください。

- all ⇒ 全てのネットワークから許可を与えます。
- internal ⇒ SISBiC内側ネットワークからの許可を与えます。
- external ⇒ SISBiC外側ネットワークからの許可を与えます。
- both ⇒ SISBiC内側と外側双方のネットワークからの許可を与えます。
- IP or HostName ⇒ 接続許可を与えるIPアドレスまたはホスト名を記載します。

ただし、tcp\_wrappersの設定は、第15章の「IPフィルタ設定」と密接に関係しているため、tcp\_wrappersの設定だけで、サービスの許可を与えることにならないことがあります。

たとえばインターネットの特定のホスト(support.example.ne.jp)からSISBiCのFTPサービスへ許可を行いたい場合には、「IPフィルタ設定」の「外側からSISBiCに許可するサービス」でFTPを許可する設定を行った上で、「tcp\_wrappers設定」の「 IP or HostName」にホスト名を書いてください。

FTP	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input checked="" type="checkbox"/> IP or HostName	or	[ support.example.ne.jp ]	

表16-1

FTP	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
TELNET	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Rsh	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
rlogin	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Finger	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
POP3	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
POP password	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Yat Config	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Sendmail	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Secure Shell	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Syslog	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]
Time	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both
	<input type="checkbox"/> IP or HostName	[		]

## 第17章 その他

SISBICで動作しているサーバプログラムの記録(ログ)を何日ごとにきりかえ、何回分保存するかを指定します。切り替え間隔×保存個数の日数分の記録が残ります。

また、WWWサーバとWWWキャッシュサーバの動作レポートをメールで指定のアドレスに送信することができます。送信したい場合は、送付先のメールアドレスを指定します。

下記の例では、毎日ログを更新し、メール関係とWWWサーバのアクセスログは30日、キャッシュサーバのログは90日、その他の一般エラーのログは2週間保存し、メールによるレポートは送信しません。

### ログの保存期間

20. ログの保存期間		
ログの種類	切替間隔 (日)	保存個数
messages	1	14
SMTP	1	30
POP3	1	30
HTTP(WWW)	1	30
Proxy	1	90

21. WWWとProxyのレポート	
WWWとProxyのレポート	<input type="checkbox"/> 送付する <input checked="" type="checkbox"/> 送付しない
レポート送付先のメールアドレス	<input type="checkbox"/> webmaster <input type="checkbox"/> [ _____ ]

## 第18章 添付資料について

可能な限り、ネットワーク構成図やプロバイダから通知された情報(IPアドレスなど)を詳しくお知らせください。詳しい添付資料をいただけますと、設定情報記入シートにご記入いただいた情報で不足があった場合や、明らかに矛盾した記述があった場合など迅速に対処可能です。

ご面倒でも、添付資料につきましてご協力をお願いいたします。

# 記入例

## ADSLフレッツアクセス(非固定IPアドレス)で接続利用する場合

たとえばADSLフレッツアクセス（非固定IPアドレス）による接続をインターネットサービスプロバイダ(以下プロバイダ)に申し込むと以下のような情報を提示されます。ここでは仮想のプロバイダであるジェーワンシステムネットワーク（example.ne.jp）を例にします。

### プロバイダからの情報例

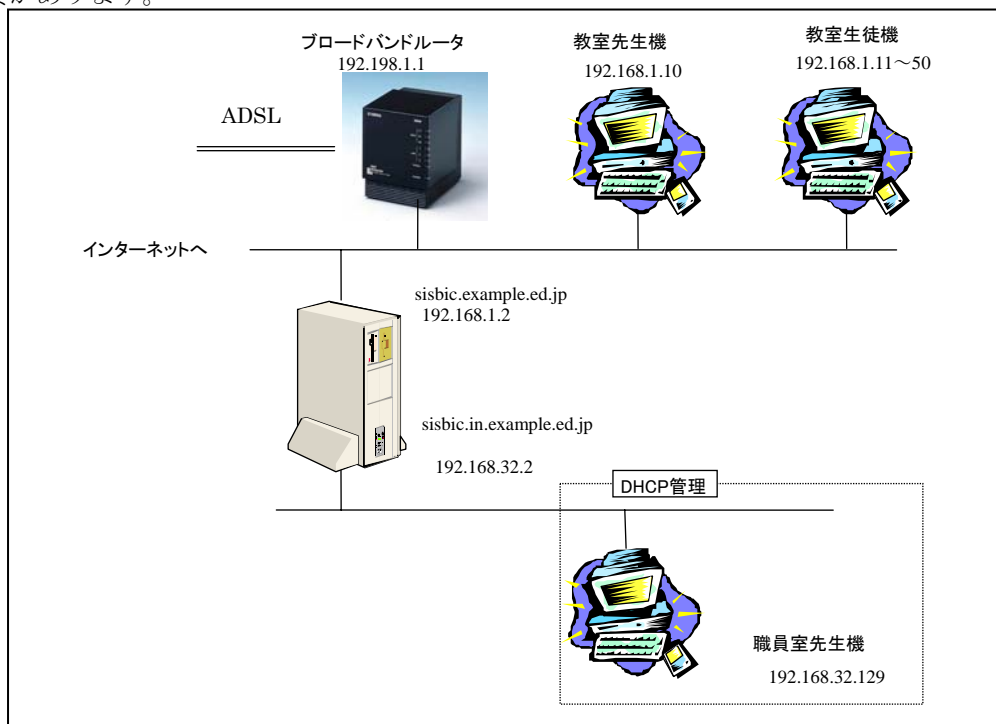
ドメイン名	example.ne.jp
DNSアドレス（プライマリ）	210.aaa.bbb.21
DNSアドレス（セカンダリ）	210.aaa.bbb.22
メールサーバ名	mail.example.ne.jp
メールアドレス	user@example.ne.jp
ニュースサーバ名	news.example.ne.jp
アノニマスFTPサーバ名	ftp.example.ne.jp
キャッシュサーバ名	cache.example.ne.jp
キャッシュサーバポート番号	8080
PPPの認証ID	guest@ppp.example.ne.jp
PPPの認証パスワード	guest01

この中でSISBICにとって必要となる情報は

- ・DNSネームサーバのIPアドレス
- ・キャッシュサーバ名
- ・キャッシュサーバポート番号

などです。（灰色の網がけの部分は必要になることもありますが、SISBICを用いたダイヤルアップ型接続では必要のない部分です。）

スタンドアローンの場合は、外部のWEBページを閲覧することがないために外部のDNSを引く必要はありませんでしたが、ダイヤルアップ型接続の場合には外部のホスト名の解決が必要になるためにDNSネームサーバの設定を行う必要があります。



## ケイアイエスユー株式会社

### キャッシュサーバの設定

プロバイダがキャッシュサーバを用意している場合には、それをSISBICの親キャッシュサーバーとして設定できます。この場合には校内のWebブラウザ（クライアントパソコン：生徒機など）からSISBICにコンテンツの要求がなされたときに、SISBICが一時記録しているデータ（キャッシュデータ）のなかに要求をうけたコンテンツがあれば、SISBICが送信します。SISBICにそのコンテンツがない場合にはプロバイダのキャッシュサーバに問い合わせにいきます。プロバイダのキャッシュサーバにもそのコンテンツが一時記録にない場合はプロバイダのキャッシュサーバが実際の相手のホストにコンテンツのデータを要求します。

このような方法を利用したときの利点は、まず学校とプロバイダとの間の通信回線を効率よく利用できることです。通信回線を効率よく利用できるれば、webページのすばやい閲覧が可能になります。

キャッシュサーバの設定を行うには、親キャッシュサーバのホスト名とポート番号を知る必要があります。上記のようにプロバイダから通知を受けている場合には、キャッシュサーバ名としてcache.example.ne.jp、ポート番号として8080を「WWWキャッシュサーバ設定」に記入します。

### 電子メールについては注意が必要です。

ダイヤルアップ型接続の場合には、SISBICは校内専用の電子メールサーバーとなり、外部とのメールのやり取りをSISBICは行いません。このため、プロバイダがSMTPサーバ名を提示していてもダイヤルアップ型接続の場合は、「SISBIC設定お問い合わせシート」のSMTPサーバ設定には「外部とメールのやり取りを行わない」に印をつけてください。

なお、ダイヤルアップ型接続の場合、クライアントパソコンがプロバイダから通知を受けたメールサーバを利用することができます。SISBICはプロバイダのメールサーバとクライアントパソコンとでやり取りされる電子メールの通信を中継することができます。

## ダイヤルアップ型接続で利用する場合

1. ご契約窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市教育委員会		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区XX町〇〇番地		
フリガナ ご担当者名	タナカ イチロウ 田中 一朗		
部署／役職	学校教育課		
TEL	012-345-xxxx	FAX	075-253-zzzz
E-Mail	なし		
設置場所窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市立第一小学校		
設置場所名	職員室		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区△△町□□番地		
フリガナ ご担当者名	スズキ ケイ子 鈴木 恵子		
TEL	012-456-yyyy	FAX	075-255-xxxx
E-Mail	なし		

2. 販売店様に関する情報			
会社名／組織名	株式会社エイビーシーテクニカル		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市北区××町〇〇番地 △△ビル4F		
フリガナ ご担当者名	ササモト タケヒロ 佐々本 竹廣		
部署／役職	文教営業部 リーダー		
TEL	012-567-xxxx	FAX	075-495-yyyy
E-Mail	t-sasamoto@foo.example.co.jp		

3. マシン基本情報				
メーカー名	〇〇××株式会社			
機種名	SISBIC-P4RAID			
機種型番	P4R-300-RAID			
詳細情報			メーカー名	製品名／型番
	LANカード #1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	LANカード #2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	SCSIカード	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	アダブテクノロジー(株)	SCSI Card 2940AU
	UPS	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	三菱電機(株)	FW-F10-0.5K
	バックアップ装置	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	ヒューレット・パッカート	SureStore DAT40e
	その他 #1	<input type="checkbox"/> 使用する		
その他 #2	<input type="checkbox"/> 使用する			

4. 管理ツールの設定			
管理者ID	<input checked="" type="checkbox"/> admin (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
管理者パスワード	<input checked="" type="checkbox"/> himitsu (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
接続ポート番号	<input checked="" type="checkbox"/> 65432 (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい

5. ネットワークインターフェースの設定		
外側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	192.168.1.2
	サブネットマスク	255.255.255.0
内側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	in.example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	192.168.32.2
	サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ (aaa.bbb.ccc.ddd)		192.168.1.2

6. DNSネームサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない	
ドメイン名	example.ed.jp			
サーバタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> マスター (プライマリ)	スレーブ (セカンダリ) サーバ名		
	<input type="checkbox"/> スレーブ (セカンダリ)	マスター (プライマリ) サーバ名		
	<input type="checkbox"/> キャッシュのみ			
フォワーダ (プロバイダのDNSネームサーバをIPアドレスで指定して利用する)	210.aaa.bbb.21, 210.aaa.bbb.22			
接続先プロバイダ名	ABCネットワーク			
リゾルバ (DNSネームサーバのIPアドレス)	<input checked="" type="checkbox"/> 127.0.0.1 (localhost) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
外側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
内側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		

7. DHCPサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
内側ネットワーク	設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス	192.168.32.129	
	終了IPアドレス	192.168.32.250	
外側ネットワーク	設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス		
	終了IPアドレス		

8. WWWサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
--------------	--	--	--------------------------------



<b>9. WWWキャッシュサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
親キャッシュサーバ名	<input checked="" type="checkbox"/> 設定する	サーバ名 cache.example.ne.jp	← 「設定する」の場合ご記入下さい
		ポート番号 <input checked="" type="checkbox"/> 8080 <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 設定しない		
キャッシュ領域容量	1024 MB		
キャッシュする最大サイズ	64 MB		
キャッシュの有効期間	7 日		
外側ネットワークでの利用	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する		

<b>10. Windows用ファイル共有サーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ワークグループ名	<input type="checkbox"/> WORKGROUP <input checked="" type="checkbox"/> TEACHERS		
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する	※セキュリティを考慮し、デフォルトでは禁止しています。	

<b>11. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメールサーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし
	<input checked="" type="checkbox"/> しない		<input type="checkbox"/>

<b>12. POP3サーバの設定 (YATServer)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
-----------------------------------	--	--------------------------------

<b>13. パスワード変更機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
----------------------	--	--------------------------------

<b>14. NTPサーバの設定(常時接続時のみ)</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
NTPサーバのIPアドレス		

<b>15. IPアドレス変換</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
---------------------	-------------------------------	---

16. 初期ユーザ登録		<input type="checkbox"/> 登録する		<input checked="" type="checkbox"/> 登録しない	
定形グループ名登録 (最大1項目)	開始グループ名	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	終了グループ名	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	
定形ユーザ名登録 (最大3項目)	所属グループ	開始ユーザ名		終了ユーザ名	
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

17. IPフィルタ設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する		<input type="checkbox"/> 利用しない	
内側ネットワークから外側ネットワークへ許可するサービス (外側から内側へのアクセスは原則禁止)	<input checked="" type="checkbox"/>	ICMP			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SSH			
	<input checked="" type="checkbox"/>	FTP			
	<input checked="" type="checkbox"/>	TELNET			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SMTP			
	<input type="checkbox"/>	HTTP			
	<input type="checkbox"/>	HTTPS			
	<input checked="" type="checkbox"/>	POP3			
	<input checked="" type="checkbox"/>	NNTP			
	<input checked="" type="checkbox"/>	IMAP4			
	<input type="checkbox"/>	SMB (Windowsファイル共有)			
	<input type="checkbox"/>	MS-DFS (Windowsファイル共有)			
	<input type="checkbox"/>	その他TCPポート			
<input type="checkbox"/>	その他UDPポート				
外側 (インターネット) ネットワークからSiSBiCへ許可するサービス	<input type="checkbox"/>	FTP			
	<input type="checkbox"/>	TELNET			
	<input type="checkbox"/>	SMB (Windowsファイル共有)			
	<input type="checkbox"/>	MS-DFS (Windowsファイル共有)			
	<input type="checkbox"/>	その他TCPポート			

18. TCP_WRAPPERS設定		<input type="checkbox"/> 利用する		<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	
FTP	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
TELNET	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
POP3	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
POP password	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
Sendmail	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
Secure Shell	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
Syslog	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> IP <input type="checkbox"/> HostName	<input type="checkbox"/> internal or [ ]	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	

## ケイアイエスユー株式会社

19. ログの保存期間		
ログの種類	切替間隔 (日)	保存個数
messages	7	15
SMTP	1	100
POP3	7	15
HTTP(WWW)	1	100
Proxy	1	100

最大に保存されるログは、「切替間隔 × 保存個数」日分となります。

20. WWWとProxyのレポート	
WWWとProxyのレポート	<input checked="" type="checkbox"/> 送付する <input type="checkbox"/> 送付しない
レポート送付先のメールアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> webmaster <input type="checkbox"/> [ ]

以上

## 専用線接続での利用の場合(1)

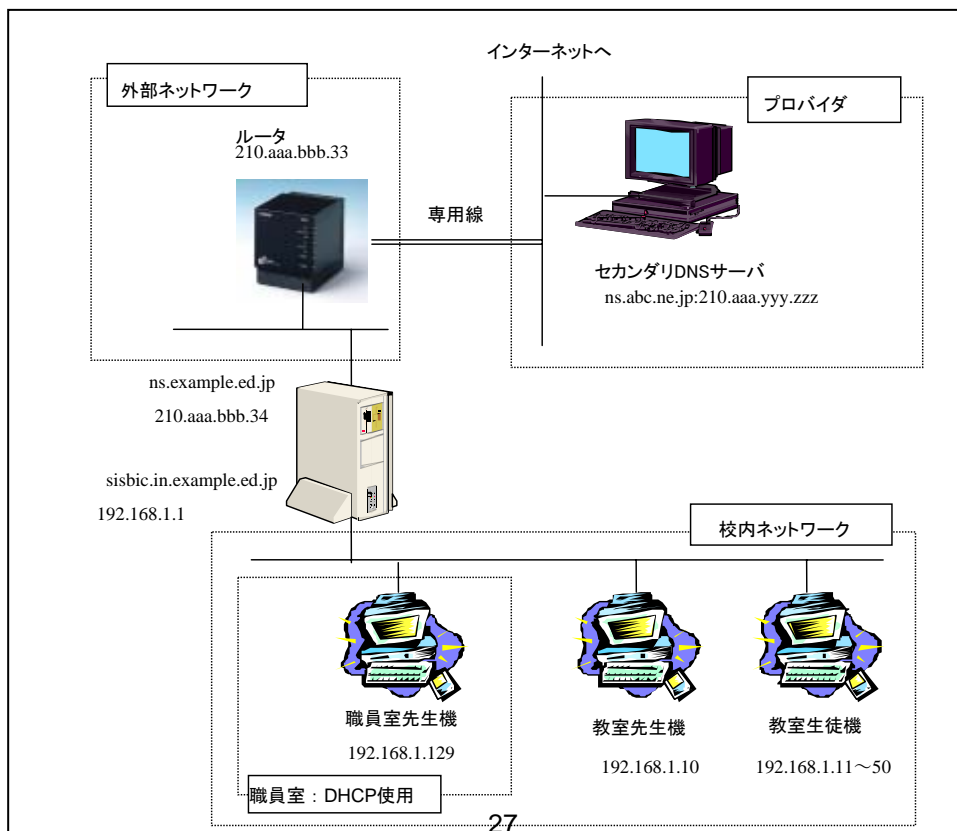
第一小学校ではプロバイダを通じてJPNICへドメイン名「example.ed.jp」を申請・登録し、また、公式なIPアドレス「210.aaa.bbb.32/255.255.255.240」をプロバイダから割り当てられました。

さらに、プロバイダにセカンダリDNSネームサーバを設置してもらうよう申請したところ、プロバイダからセカンダリDNSネームサーバとして「ns.example.ne.jp(IPアドレス 210.aaa.yyy.zzz)」を利用するように通知されました。

「210.aaa.bbb.32/255.255.255.240」は「210.aaa.bbb.32」から「210.aaa.bbb.47」までの連続した16個のIPアドレスを意味しますが、このうち「210.aaa.bbb.32」と「210.aaa.bbb.47」のIPアドレスは特別なIPアドレスなので使えません。

そこで第一小学校では、プロバイダと接続するためのルータに「210.aaa.bbb.33」を割り当てることにしました。またSISBICをプライマリDNSネームサーバとして運用するため、外部向け（インターネット側。以下、外側と呼びます）のインターフェースカードのIPアドレスとして「210.aaa.bbb.34」を割り当てることにしました。また、内部向け（校内ネットワーク側。内側と呼びます）はプライベートアドレスである「192.168.1.0/255.255.255.0」を使用します。

プロバイダから通知されたネットワークアドレス	210.aaa.bbb.32
プロバイダから通知されたサブネットマスク	255.255.255.240
プロバイダを通じて申請し、登録されたドメイン名	example.ed.jp
プロバイダから通知されたセカンダリDNSネームサーバIPアドレス	210.aaa.yyy.zzz
プロバイダから通知されたセカンダリDNSネームサーバ名	ns.example.ne.jp
SISBICの外部ネットワーク向けIPアドレス	210.aaa.bbb.34
プライマリDNSネームサーバ名（SISBICの外部向けホスト名）	ns.example.ed.jp
ルータのIPアドレス	210.aaa.bbb.33
校内ネットワークのサブドメイン名	in.example.ed.jp
校内ネットワークのネットワークアドレス	192.168.1.0
校内ネットワークのサブネットマスク	255.255.255.0
SISBICの校内ネットワーク向けIPアドレス	192.168.1.1
SISBICの校内ネットワーク向けホスト名	sisbic.in.example.ed.jp



## ケイアイエスユー株式会社

このほか第一小学校は、プロバイダに問い合わせ、専用線接続で利用できるWWWキャッシュサーバ、時刻合わせ用NTPサーバのアドレス、プロバイダが用意しているセカンダリサーバのIPアドレスとホスト名を教えてくださいました。

キャッシュサーバ名	cache.example.ne.jp
キャッシュサーバのポート番号	8080
NTPサーバのIPアドレス	210.aaa.www.xxx
セカンダリサーバのホスト名とIPアドレス	ns.example.ne.jp(210.aaa.yyy.zzz)

第一小学校では、校内ネットワークをパソコン教室から職員室に延長しています。職員室のパソコン用にDHCPも利用できるように設定しておき、パソコン教室に設置するパソコンはDHCPを使用しないようにします。

ただし、この場合はパソコン教室と職員室は1つのネットワークですので、職員室のパソコンのファイル共有設定でファイルを公開すると、職員室内ばかりでなくパソコン教室の生徒機からもファイルを見ることができます。この場合のネットワーク構成を図で表すと前ページのようになります。

## 専用線接続での利用の場合(1) 記入例

1. ご契約窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市教育委員会		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区XX町〇〇番地		
フリガナ ご担当者名	タナカ イチロウ 田中 一朗		
部署／役職	学校教育課		
TEL	012-345-xxxx	FAX	075-253-zzzz
E-Mail	なし		
設置場所窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市立第一小学校		
設置場所名	職員室		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区△△町□□番地		
フリガナ ご担当者名	スズキ ケイ子 鈴木 恵子		
TEL	012-456-yyyy	FAX	075-255-xxxx
E-Mail	なし		

2. 販売店様に関する情報			
会社名／組織名	株式会社エイビーシーテクニカル		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市北区××町〇〇番地 △△ビル4F		
フリガナ ご担当者名	ササモト タケヒロ 佐々本 竹廣		
部署／役職	文教営業部 リーダー		
TEL	012-567-xxxx	FAX	075-495-yyyy
E-Mail	t-sasamoto@foo.example.co.jp		

3. マシン基本情報				
メーカー名	〇〇××株式会社			
機種名	SISBIC-P4RAID			
機種型番	P4R-300-RAID			
詳細情報			メーカー名	製品名／型番
	LANカード #1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	LANカード #2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	SCSIカード	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	アダブ テックジ ャパン(株)	SCSI Card 2940AU
	UPS	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	三菱電機(株)	FW-F10-0.5K
	バックアップ 装置	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	ヒューレット・パッカート	SureStore DAT40e
	その他 #1	<input type="checkbox"/> 使用する		
その他 #2	<input type="checkbox"/> 使用する			

4. 管理ツールの設定			
管理者ID	<input checked="" type="checkbox"/> admin (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
管理者パスワード	<input checked="" type="checkbox"/> himitsu (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
接続ポート番号	<input checked="" type="checkbox"/> 65432 (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい

5. ネットワークインターフェースの設定		
外側インターフェース	ホスト名	ns
	ドメイン名	example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	210.aaa.bbb.34
	サブネットマスク	255.255.255.240
内側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	in.example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ (aaa.bbb.ccc.ddd)		210.aaa.bbb.33

6. DNSネームサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない	
ドメイン名	example.ed.jp			
サーバタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> マスター (プライマリ)	スレーブ (セカンダリ) サーバ名	210.aaa.yyy.zzz	
	<input type="checkbox"/> スレーブ (セカンダリ)	マスター (プライマリ) サーバ名		
	<input type="checkbox"/> キャッシュのみ			
フォワーダ (プロバイダのDNSネームサーバをIPアドレスで指定して利用する)				
接続先プロバイダ名	ABCネットワーク			
リゾルバ (DNSネームサーバのIPアドレス)	<input checked="" type="checkbox"/> 127.0.0.1 (localhost)			
	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>			
外側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
内側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス	
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
	ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		

7. DHCPサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
内側ネットワーク	設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス	192.168.32.129	
	終了IPアドレス	192.168.32.250	
外側ネットワーク	設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス		
	終了IPアドレス		

8. WWWサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
--------------	--	--	--------------------------------

<b>9. WWWキャッシュサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
親キャッシュサーバ名	<input checked="" type="checkbox"/> 設定する	サーバ名 cache.example.ne.jp	← 「設定する」の場合ご記入下さい
		ポート番号 <input checked="" type="checkbox"/> 8080 <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 設定しない		
キャッシュ領域容量	1024 MB		
キャッシュする最大サイズ	64 MB		
キャッシュの有効期間	7 日		
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する		

<b>10. Windows用ファイル共有サーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ワークグループ名	<input type="checkbox"/> WORKGROUP <input checked="" type="checkbox"/> TEACHERS		
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する	※セキュリティを考慮し、デフォルトでは禁止しています。	

<b>11. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input checked="" type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメールサーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> しない		

<b>12. POP3サーバの設定 (YATServer)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
-----------------------------------	--	--------------------------------

<b>13. パスワード変更機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
----------------------	--	--------------------------------

<b>14. NTPサーバの設定(常時接続時のみ)</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
NTPサーバのIPアドレス		

<b>15. IPアドレス変換</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
---------------------	-------------------------------	---



16. 初期ユーザ登録		<input type="checkbox"/> 登録する		<input checked="" type="checkbox"/> 登録しない	
定形グループ名登録 (最大1項目)	開始グループ名	<input type="checkbox"/> [ ]	終了グループ名	<input type="checkbox"/> [ ]	
		<input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> [ ]	
定形ユーザ名登録 (最大3項目)	所属グループ	開始ユーザ名		終了ユーザ名	
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

17. IPフィルタ設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する		<input type="checkbox"/> 利用しない		
内側ネットワークから外側ネットワークへ許可するサービス (外側から内側へのアクセスは原則禁止)		<input checked="" type="checkbox"/> ICMP				
		<input checked="" type="checkbox"/> SSH				
		<input checked="" type="checkbox"/> FTP				
		<input checked="" type="checkbox"/> TELNET				
		<input checked="" type="checkbox"/> SMTP				
		<input type="checkbox"/> HTTP				
		<input type="checkbox"/> HTTPS				
		<input checked="" type="checkbox"/> POP3				
		<input checked="" type="checkbox"/> NNTP				
		<input checked="" type="checkbox"/> IMAP4				
		<input type="checkbox"/> SMB (Windowsファイル共有)				
		<input type="checkbox"/> MS-DFS (Windowsファイル共有)				
		<input type="checkbox"/> その他TCPポート				
		<input type="checkbox"/> その他UDPポート				
外側 (インターネット) ネットワークからSiSBiCへ許可するサービス		<input type="checkbox"/> FTP				
		<input type="checkbox"/> TELNET				
		<input type="checkbox"/> SMB (Windowsファイル共有)				
		<input type="checkbox"/> MS-DFS (Windowsファイル共有)				
		<input type="checkbox"/> その他TCPポート				

18. TCP_WRAPPERS設定		<input type="checkbox"/> 利用する		<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	
FTP	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
TELNET	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
POP3	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
POP password	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
Sendmail	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
Secure Shell	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			
Syslog	<input type="checkbox"/> all	<input type="checkbox"/> internal	<input type="checkbox"/> external	<input type="checkbox"/> both	
	<input type="checkbox"/> IP HostName	or [ ]			

## ケイアイエスユー株式会社

19. ログの保存期間		
ログの種類	切替間隔 (日)	保存個数
messages	7	15
SMTP	1	100
POP3	7	15
HTTP(WWW)	1	100
Proxy	1	100

最大に保存されるログは、「切替間隔 × 保存個数」日分となります。

20. WWWとProxyのレポート	
WWWとProxyのレポート	<input checked="" type="checkbox"/> 送付する <input type="checkbox"/> 送付しない
レポート送付先のメールアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> webmaster <input type="checkbox"/> [ ]

以上

## 専用線接続での利用の場合(2)

第一小学校では○×△市教育センター(以下センターと呼ぶ)を通じてサブドメイン名「daiichi-es.example.ed.jp」と市内イントラネット用IPアドレス「172.23.1.0/255.255.255.0」を割り当てられました。

さらに、センターにセカンダリDNSネームサーバとして「ns.example.ed.jp(IPアドレス 210.aaa.yyy.zzz)」を利用するように通知されました。

そこで第一小学校では、センターと接続するためのルータに「172.23.1.1」を割り当てることにしました。またSISBICをプライマリDNSネームサーバとして運用するため、外側インターフェースカードのIPアドレスとして「172.23.1.2」を割り当てることにしました。また、内側はプライベートアドレスである「192.168.1.0/255.255.255.0」を使用します。

センターから通知されたネットワークアドレス	172.23.1.0
センターから通知されたサブネットマスク	255.255.255.0
センターから通知されたサブドメイン名	daiichi-es.example.ed.jp
センターから通知されたセカンダリDNSネームサーバIPアドレス	210.aaa.yyy.zzz
センターから通知されたセカンダリDNSネームサーバ名	ns.example.ed.jp
SISBICの外側ネットワーク向けIPアドレス	172.23.1.2
プライマリDNSネームサーバ名 (SISBICの外部向けホスト名)	ns.daiichi-es.example.ed.jp
ルータのIPアドレス	172.23.1.1
校内ネットワークのサブドメイン名	in.daiichi-es.example.ed.jp
校内ネットワークのネットワークアドレス	192.168.1.0
校内ネットワークのサブネットマスク	255.255.255.0
SISBICの校内ネットワーク向けIPアドレス	192.168.1.2
SISBICの校内ネットワーク向けホスト名	sisbic.in.daiichi-es.example.ed.jp

このほか第一小学校は、センターから上流WWWキャッシュサーバ、時刻合わせ用NTPサーバのアドレス、電子メールのリレーサーバ、DNSのフォワード先とセカンダリサーバのホスト名とIPアドレスの情報を教えてもらいました。

さらに、WWWとproxyのレポート送付先は第一小学校の先生ではなく、センターのネットワーク管理者宛にすることになっています。

キャッシュサーバ名	cache.example.ed.jp
キャッシュサーバのポート番号	8080
NTPサーバのIPアドレス	210.aaa.www.xxx
電子メールのリレー先ホスト名	ns.example.ed.jp
DNSのフォワード先IPアドレス	210.aaa.yyy.zzz
DNSのセカンダリサーバのホスト名とIPアドレス	ns.example.ed.jp(210.aaa.yyy.zzz)
WWWとproxyのレポート送付アドレス	admin@example.ed.jp

第一小学校では、校内ネットワークをパソコン教室から職員室に延長しています。職員室のパソコン用にDHCPも利用できるように設定しておき、パソコン教室に設置するパソコンはDHCPを使用しないようにします。

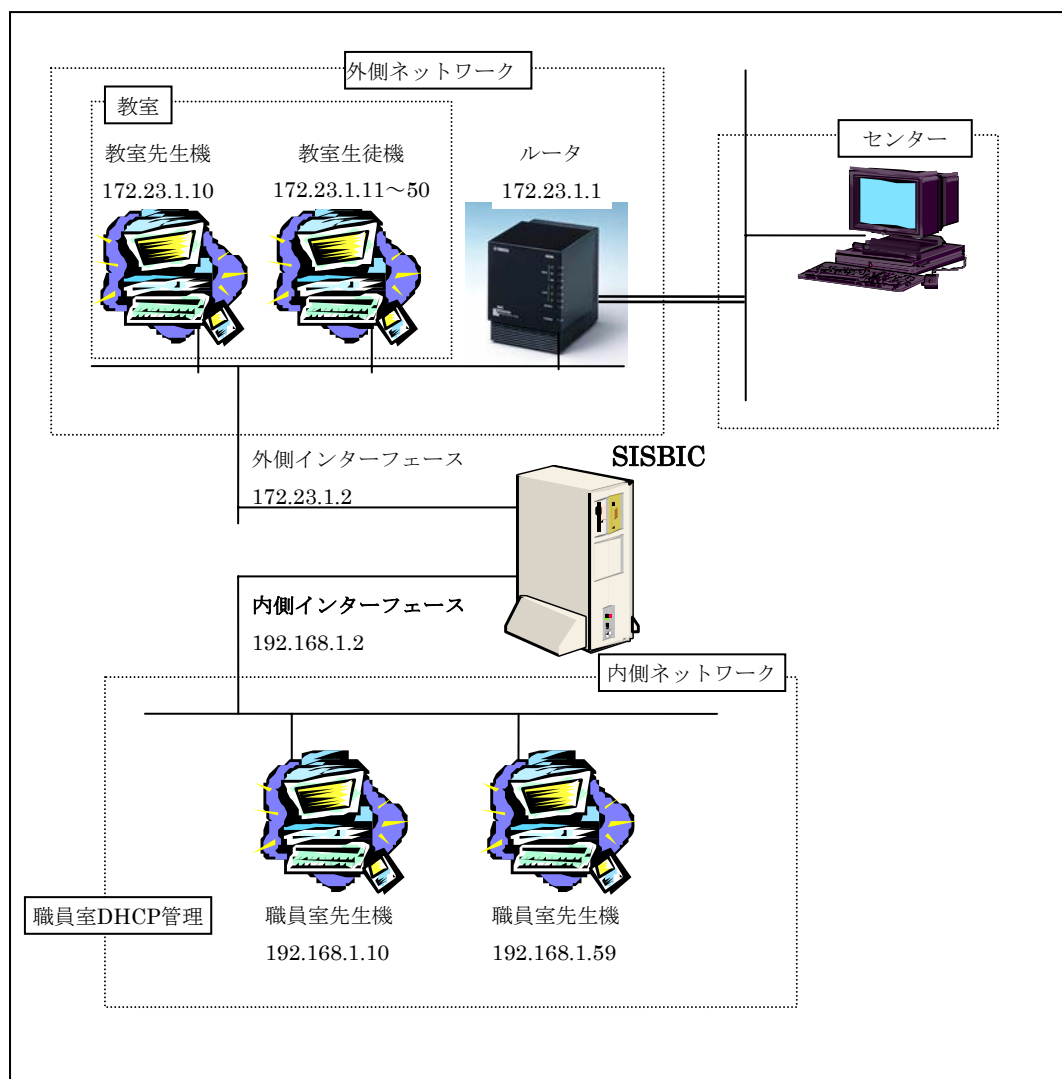
ただし、この場合は専用線接続例(1)とは異なり、パソコン教室と職員室はSISBICで分離されたネットワークですので、職員室のパソコンのファイル共有機能でファイルを公開しても、パソコン教室の生徒機からファイルを見ることができません。この場合のネットワーク構成図を次ページに示します。

## ケイアイエスユー株式会社

また、初期ユーザを作成しておくことにしました。3学年あり、各学年ごとに300ユーザを作成します。あらかじめ作成しておく初期ユーザは次の表のように決めました。

	グループ名	ユーザ名
1年生	seito1	s01001～s01300
2年生	seito2	s00001～s00300
3年生	seito3	s99001～s99300

ユーザ名は「s」で始まり、入学年度の西暦下2桁、3桁の数字という形式です。



## 専用線接続での利用の場合(2) 記入例

1. ご契約窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市教育委員会		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区XX町〇〇番地		
フリガナ ご担当者名	タナカ イチロウ 田中 一朗		
部署／役職	学校教育課		
TEL	012-345-xxxx	FAX	012-345-zzzz
E-Mail	なし		
設置場所窓口に関する情報			
会社名／組織名	〇×△市立第一小学校		
設置場所名	職員室		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市中京区△△町□□番地		
フリガナ ご担当者名	スズキ ケイ子 鈴木 恵子		
TEL	012-456-yyyy	FAX	012-456-xxxx
E-Mail	なし		

2. 販売店様に関する情報			
会社名／組織名	株式会社エイビーシーテクニカル		
ご住所	〒666-0000 京都府〇×△市北区××町〇〇番地 第一ビル		
フリガナ ご担当者名	ササモト タケヒロ 佐々本 竹廣		
部署／役職	文教営業部 リーダー		
TEL	012-567-xxxx	FAX	012-456-yyyy
E-Mail	t-sasamoto@foo.example.co.jp		

3. マシン基本情報				
メーカー名	〇〇××株式会社			
機種名	SISBIC-P4RAID			
機種型番	P4R-300-RAID			
詳細情報			メーカー名	製品名／型番
	LANカード #1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	LANカード #2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	インテル(株)	Intel PRO/1000T
	SCSIカード	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	アガブ テックジ ャパン(株)	SCSI Card 2940AU
	UPS	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	三菱電機(株)	FW-F10-0.5K
	バックアップ 装置	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	ヒューレット・パ ッカード	SureStore DAT40e
	その他 #1	<input type="checkbox"/> 使用する		
その他 #2	<input type="checkbox"/> 使用する			

4. 管理ツールの設定			
管理者ID	<input checked="" type="checkbox"/> admin (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
管理者パスワード	<input checked="" type="checkbox"/> himitsu (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい
接続ポート番号	<input checked="" type="checkbox"/> 65432 (default)	<input type="checkbox"/>	← default 以外を使用する場合はご記入下さい

5. ネットワークインターフェースの設定		
外側インターフェース	ホスト名	ns
	ドメイン名	example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	172.23.1.2
	サブネットマスク	255.255.255.0
内側インターフェース	ホスト名	sisbic
	ドメイン名	in.example.ed.jp
	IPアドレス (aaa.bbb.ccc.ddd)	192.168.1.2
	サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ (aaa.bbb.ccc.ddd)		172.23.1.1

6. DNSネームサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ドメイン名	example.ed.jp		
サーバタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> マスター (プライマリ)	スレーブ (セカンダリ) サーバ名	ne.example.ed.jp (210.aaa.yyy.zzz)
	<input type="checkbox"/> スレーブ (セカンダリ)	マスター (プライマリ) サーバ名	
	<input type="checkbox"/> キャッシュのみ		
フォワーダ (プロバイダのDNSネームサーバをIPアドレスで指定して利用する)	210.aaa.yyy.zzz		
接続先プロバイダ名			
リゾルバ (DNSネームサーバのIPアドレス)	<input checked="" type="checkbox"/> 127.0.0.1 (localhost) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
外側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス
		<input checked="" type="checkbox"/> router	172.23.1.1
	<input checked="" type="checkbox"/> sensei	172.23.1.10	
	<input type="checkbox"/>		
ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
	<input checked="" type="checkbox"/> seito01	172.23.1.11	40
	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			
内側ネットワーク	ホスト名登録	ホスト名	IPアドレス
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>		
ホスト名定形登録	開始ホスト名	開始IPアドレス	個数
	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			

7. DHCPサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
内側ネットワーク	設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス	192.168.1.10	
	終了IPアドレス	192.168.32.126	
外側ネットワーク	設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	開始IPアドレス		
	終了IPアドレス		

8. WWWサーバの設定		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
--------------	--	--	--------------------------------

<b>9. WWWキャッシュサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
親キャッシュサーバ名	<input checked="" type="checkbox"/> 設定する	サーバ名 cache.example.ne.jp	← 「設定する」の場合ご記入下さい
		ポート番号 <input checked="" type="checkbox"/> 8080 <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 設定しない		
キャッシュ領域容量	1024 MB		
キャッシュする最大サイズ	64 MB		
キャッシュの有効期間	7 日		
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する		

<b>10. Windows用ファイル共有サーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
ワークグループ名	<input type="checkbox"/> WORKGROUP <input checked="" type="checkbox"/> TEACHERS		
外側ネットワークでの利用	<input type="checkbox"/> 利用する	※セキュリティを考慮し、デフォルトでは禁止しています。	

<b>11. SMTPサーバの設定</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
校外とのやり取り	<input checked="" type="checkbox"/> する ※常時接続環境の場合のみ	リレーメールサーバ名	<input type="checkbox"/> 設定なし <input checked="" type="checkbox"/> ns.example.ed.jp
	<input type="checkbox"/> しない		

<b>12. POP3サーバの設定 (YATServer)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
-----------------------------------	--	--------------------------------

<b>13. パスワード変更機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する	<input type="checkbox"/> 利用しない
----------------------	--	--------------------------------

<b>14. NTPサーバの設定(常時接続時のみ)</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
NTPサーバのIPアドレス		

<b>15. IPアドレス変換</b>	<input type="checkbox"/> 利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない
---------------------	-------------------------------	---

16. 初期ユーザ登録		■ 登録する		□ 登録しない	
定形グループ名登録 (最大1項目)	開始グループ名	■ [seito1 ] □ [ ]	終了グループ名	■ [seito3 ] □ [ ]	
定形ユーザ名登録 (最大3項目)	所属グループ	開始ユーザ名	終了ユーザ名		
	■ seito01	s01001	s01300		
	■ seito02	s00001	s00300		
	■ seito03	s99001	s99300		
	□				
	□				
	□				

17. IPフィルタ設定		■ 利用する		□ 利用しない	
内側ネットワークから外側ネットワークへ許可するサービス (外側から内側へのアクセスは原則禁止)	■ ICMP				
	■ SSH				
	■ FTP				
	■ TELNET				
	■ SMTP				
	■ HTTP				
	■ HTTPS				
	■ POP3				
	■ NNTP				
	■ IMAP4				
	□ SMB (Windowsファイル共有)				
	□ MS-DFS (Windowsファイル共有)				
	□ その他TCPポート				
□ その他UDPポート					
外側 (インターネット) ネットワークからSiSBiCへ許可するサービス	□ FTP				
	□ TELNET				
	□ SMB (Windowsファイル共有)				
	□ MS-DFS (Windowsファイル共有)				
	□ その他TCPポート				

18. TCP_WRAPPERS設定		□ 利用する		■ 利用しない	
FTP	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
TELNET	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
POP3	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
POP password	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
Sendmail	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
Secure Shell	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				
Syslog	<input type="checkbox"/> all <input type="checkbox"/> internal <input type="checkbox"/> external <input type="checkbox"/> both <input type="checkbox"/> IP or [ ] <input type="checkbox"/> HostName				



## ケイアイエスユー株式会社

19. ログの保存期間		
ログの種類	切替間隔 (日)	保存個数
messages	7	15
SMTP	1	100
POP3	7	15
HTTP(WWW)	1	100
Proxy	1	100

最大に保存されるログは、「切替間隔 × 保存個数」日分となります。

20. WWWとProxyのレポート	
WWWとProxyのレポート	<input checked="" type="checkbox"/> 送付する <input type="checkbox"/> 送付しない
レポート送付先のメールアドレス	<input type="checkbox"/> webmaster <input checked="" type="checkbox"/> [ admin@example.ed.jp ]

以上